

昨年、世界そして日本は、地球沸騰化と呼ばれるなど、観測史上最も暑い一年を過ごしました。

こうした地球温暖化は、今では日々の暮らしに現実の問題を引き起こすようになり、夏の猛暑は、私たちの生命と健康に危険があるレベルに達し、それぞれの地域において異常気象による大きな被害が繰り返し報道されています。



このまま地球温暖化が続いた場合、現在をはるかに上回る気温上昇とその影響に直面することになり、私たちの子どもや孫の世代が暮らす50～70年先には、最高気温35℃を超える猛暑日が毎年2か月を超え、災害をもたらすような大雨は2倍以上発生すると予測されています。

しかし、これは変えることができる未来です。

昨年3月、国連の気候変動による政府間パネル（IPCC）が発表した報告書では、「この10年間に行う選択や実施する対策が、数千年先まで影響を持つ。」と示されました。

地球温暖化対策の行動は、私たち一人ひとりが日々の暮らしの中で起こすことができます。

それは、必ずしも生活の不自由や経済的負担を伴うものではなく、新しい優れた技術・製品を活用し、ちょっとした賢い工夫や選択をすることで、無駄を省いた快適な暮らしにもつながる行動となります。

このたび、国は、2050年カーボンニュートラルおよび2030年度温室効果ガス削減目標の実現に向け、「COOL CHOICE」を引き継ぐ形で、「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動（愛称：デコ活）」を開始しました。

本市もこの運動に賛同し、再エネの導入・省エネの推進など、率先して脱炭素の取組を進めるとともに、様々な普及啓発や支援策を実施し、市民の皆様の新しい暮らしを後押しして、2050年までにゼロカーボンシティの実現を目指してまいります。

令和6（2024）年2月1日

木津川市長 谷口 雄一